



BCJ-審査証明-220

## 建設技術審査証明書 (建築技術)

技術名称：環境対応型改質アスファルト防水  
「ASFIT防水工法」

標記技術の内容について依頼者より提出された開発の趣旨及び開発の目標に基づき証明するものである。

### (開発の趣旨)

従来のアスファルト防水熱工法は、防水工用アスファルトを用いてルーフィング類を3~4層積層して防水層を形成する工法で、信頼性が高い反面、次のような問題点がある。

- (1) 防水工用アスファルトを作業現場で溶融するため、溶融アスファルトから発生する煙、臭いにより環境上の問題が発生することがある。
- (2) ルーフィングを3~4層積層して防水層を形成するため、使用材料及び作業工程が多く作業効率に問題がある。

本工法は、防水工用アスファルトに相当する加熱溶融アスファルトが第2層目の改質アスファルトルーフィングシート裏面及び第1層目の改質アスファルトルーフィングシート表面に均一な厚みで施されており、これをバーナーにて溶融し張付け積層する工法であり、従来のアスファルト防水熱工法と同様に溶融された改質アスファルトにて防水層が形成される。これによって施工中に発生する煙・臭いの抑制につながるとともに、作業効率を改善し、さらには環境に対する影響の軽減を図ることを目的として開発を行ったものである。

### (開発の目標)

- (1) 従来のアスファルト防水熱工法と比較して、少ない積層数で同等の防水性能を有する防水層を確実に形成すること。
- (2) ASFIT防水工法で施工することにより、従来のアスファルト防水熱工法と比較し施工時における二酸化炭素の発生及び煙・臭いの発生が軽減され、周辺環境の改善が図られていること。
- (3) 在来工法であるアスファルト防水熱工法と比較して、作業工程数及び人工数の削減ならびに防水層の重量の削減により施工の簡素化が図られ、作業効率が向上すること。

一般財団法人日本建築センターの建設技術審査証明事業（建築技術）業務規程及び約款に基づき、依頼のあった環境対応型改質アスファルト防水「ASFIT防水工法」の技術内容について下記のとおり証明する。

2015年9月28日



建設技術審査証明協議会会員

一般財団法人日本建築センター

The Building Center of Japan

理事長 松野 仁

### 記

#### 1. 審査証明結果

本技術において、前記の開発の趣旨、開発の目標に照らして審査した結果は、以下のとおりである。

- (1) 従来のアスファルト防水熱工法と比較して、少ない積層数で同等の防水性能を有する防水層を確実に形成するものと判断される。
- (2) ASFIT防水工法で施工することにより、従来のアスファルト防水熱工法と比較し施工時における二酸化炭素の発生及び煙・臭いの発生が軽減され、周辺環境の改善が図られているものと判断される。
- (3) 在来工法であるアスファルト防水熱工法と比較して、作業工程数及び人工数の削減ならびに防水層の重量の削減により施工の簡素化が図られ、作業効率が向上するものと判断される。

#### 2. 審査証明の前提

本審査証明は、依頼者から提出された資料等には事実と反する記載がなく、依頼者の責任において適正に設計・施工・品質管理等が行われることを前提に、依頼者から提出された資料に基づいて行われたものである。

#### 3. 審査証明の範囲

審査証明は、依頼者より提出された開発の趣旨、開発の目標に対して設定された確認方法により確認した範囲とする。なお、個々の工事等の実施過程及び実施結果の適切性は審査証明の範囲に含まれない。

#### 4. 審査証明の詳細 (別添)

この審査証明技術を個々の工事等へ適用する際は、別添内容に従うこと。

#### 5. 審査証明の有効期限 2020年9月27日

#### 6. 審査証明の依頼者

七王工業株式会社

住所 香川県善通寺市金蔵寺町180番地